

公認心理師 大学院対応科目履修確認票

提出日：_____年____月____日

フリガナ			旧姓（フリガナ）
氏 名	(姓)	(名)	
修了した研究 科・専攻の名称			生 年 月 日 (西暦)
入学年月	(西暦) 年 月	修了年月	(西暦) 年 月 日生

公認心理師法施行規則に規定する科目		大学院における履修科目	要件
I	1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	2分野 以上に わたり 2科目 以上
	2	福祉分野に関する理論と支援の展開	
	3	教育分野に関する理論と支援の展開	
	4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	
	5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	
公認心理師法施行規則に規定する科目		大学院における履修科目	要件
II	6	心理的アセスメントに関する理論と実践	2分野 以上に わたり 2科目 以上
	7	心理支援に関する理論と実践	
	8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	
	9	心の健康教育に関する理論と実践	
公認心理師法施行規則に規定する科目		大学院における履修科目	要件
III	10	心理実践実習	必修

記 入 要 領

1. 「提出日」は、確認表を送付した日付を記入する。年号は西暦で記載する。
2. 「氏名」欄には、「公認心理師試験 修了証明書・科目履修証明書」交付申請書に記載する氏名を記入する。
3. 「旧姓」欄は、大学院在籍時の姓が現在と異なる場合に、大学院在籍時の姓を記入する。
4. 「修了した研究科・専攻の名称」欄には、専攻の名称まで正確に記入する。
5. 「大学院における履修科目」欄には、大学ホームページに掲載されている「読替科目表」を参照のうえ、「公認心理師法施行規則に規定する科目」に対応する大学院開講科目のうち申請者が履修した科目名称を記入する
6. 履修した科目名称は、副題まで含めて正確に記入する。
7. 申請者の在籍年度に開講されていない科目は、履修した科目として認められない。
8. 履修した科目は、「公認心理師法施行規則に規定する科目」一科目につき、一つを記入する。
9. 一つの「公認心理師法施行規則に規定する科目」に対応しているとした履修科目を、他の「公認心理師法施行規則に規定する科目」に対応する履修科目として記入することはできない。
10. 「公認心理師法施行規則に規定する科目」に対応する履修科目がない場合は、(当該科目なし)と括弧書きで記入する。
11. 「心理実践実習」については、施設分野及び実習時間数に関わらず、履修した学外実習科目を記入する。